GPA 評価の導入について

GPAとは「Grade Point Average」の略で、学生が履修した科目の成績を数値化し、1単位当たりの平均点で表したものです。厳格な成績評価が行えるとして、欧米では多くの大学が成績の指標として取り入れています。昨今、日本でも取り入れる大学が増えており、就活でも注目されるようになりました。本校でもこのGPAによる評価を導入し、学生の学修指導に役立てることにしました。

このGPAによる評価を用いることで、

1. 成績の伸び
2. 学習状況
3. 学生の各教科に対する取り組み

について客観的に判断することができます。

IVYでは、1年を前期と後期に分けていますので、各期ごとに評価を算出することになります。また、学科やクラスでGPAの分布をとり、下位1/4に属する学生には、担任より学修指導を行うこととなります。

GPA の計算方法

科目ごとの評価 (S, A, B, C, D) に応じて点数を与えます。

(S=4点 A=3点 B=2点 C=1点 D=0点)

ここで、評価は、科目ごとに定めた評価基準をもとに、評価点が90点以上ならばS、80点以上ならばA、70点以上ならばB、60点以上ならばCとし、59点以下はD(不可)となります。

この評価と科目の単位数の積の合計を求めます(小数点以下第三位の値を四捨五入する)。それを受講総単位数で割った値がGPAとなります。

計算例

科目	評価	単位数	点数
X001	S	2	$2 \times 4 = 8$
X002	A	3	$3 \times 3 = 9$
Y001	A	5	$5 \times 3 = 15$
Y002	B	2	$2 \times 2 = 4$
Z001	C	3	$3 \times 1 = 3$
Z002	B	2	$2 \times 2 = 4$
受講総単位数		18	合計 43

$$\text{GPA} = 43 \div 18 = 2.39$$

一般的には、GPAの値により、次のような評価がされています。

3.5~4.0	大変優秀な成績です。
3.2~3.4	優秀な成績です。
1.6~3.1	平均的な成績です。
1.0~1.5	努力を要する成績です。
0~0.9	より一層努力を要する成績です。